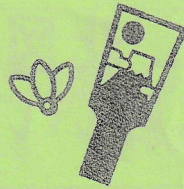


ほうれんそう

<https://www.amagasaki-library.jp/>



尼崎市立北図書館

尼崎市南武庫之荘3-21-21

TEL (06) 6438-7322

FAX (06) 6438-7344

《新・尼崎の本棚 119》

猪名川河畔今むかし

猪名川は古代から船の往来が盛んで、京都、大阪、瀬戸内海より神崎川を経て、伊丹付近まで航路がありました。現在、猪名川沿いに点在する猪名川公園、船詰(ふなづめ)公園、西浦公園、猪名川風致公園は、むかし蛇行していた川の堤防を彷彿とさせます。船詰公園は船詰神社の旧跡で、この地はかつて船着場として栄えていました。河川改修や交通手段の変化により、船詰神社は昭和50年に西浦公園の隣に遷宮しました。周辺に築かれた堤防は水害の歴史と深い関わりがあり、地域遺産としての残存を要望する意見が住民から寄せられ、公園などに整備されています。

船詰神社境内にあったクスノキやイチヨウは、現在船詰公園内に保存されています。また遷宮先と西浦公園一帯は、巨樹や保護樹木が茂り、猪名川自然林として保存され、市街地でありながら、いにしへの風景を留めています。

(参考:『いな笹原』榎本利明/著・出版、『尼崎神社あんない 改訂版』兵庫県神道青年会尼崎支部/出版)

神社と緑

古くからある神社の緑は、社叢林や鎮守の森と呼ばれ、周辺に暮らす人たちと深い結びつきや歴史があります。また、尼崎市内南部には工場に併設された神社の存在もあります。尼崎ではかつて公害問題が発生した工業地帯の環境改善のために工場緑化が推進されてきました。神社緑地は、植物だけでなく、昆虫類、両生類、鳥類、小型哺乳類などの生物の生息の場としての可能性があるといわれています。

(参考:『尼崎市環境基本計画』尼崎市美化環境局環境対策部環境政策課/編集・出版)

●自然や水辺に関する本●

『100さいの森』	松岡 達英/著, 伊藤 弥寿彦/監修	講談社	221925333
『水運史から世界の水へ』	徳仁親王/著	NHK出版	212178838
『神戸~尼崎海辺の歴史』	辻川 敦・大国 正美/編著	神戸新聞総合出版センター	330042143

<図書館の休館日>

印の日はお休みです

1月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
⑦	⑧	9	10	11	12	13
⑭	15	16	17	18	19	20
⑳	22	23	24	25	26	27
㉘	29	30	31			

2月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
④	5	6	7	8	9	10
⑪	⑫	13	14	15	16	17
⑱	19	20	21	22	㉓	24
㉕	26	27	28	29		



1月: January

英語の1月の語源は、ローマの神ヤヌス(Janus)に捧げられた月ヤヌアリウス(Januarus)からきた言葉。

星座(1月21日~2月19日): 水瓶座

時候: 酷寒、寒気、寒冷、霜柱、初春、新春、降雪

開館時間 午前9時~午後8時(日曜・祝日は、午後5時15分まで)

2024



あけましておめでとうございます
今年も 北図書館を
よろしく願いたします



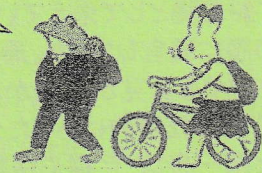
アオハルコーナーのご紹介

北図書館2階にある「アオハルコーナー」をご存じですか？
このコーナーには、中高生のみなさんに読んでほしい
オススメの本がたくさんあります。

進路や勉強、留学に役立つ本や中高生向けの小説、
さらにはマンガも置いています。
コーナー前のホワイトボードでは、特集展示を行ったり
みなさんに発信したい情報などを掲示しています。

ぜひ遊びに来てくださいね。

行ってみる？



青少年室(学習室)の使い方について

◆利用の前に座席券を

2階カウンターで座席利用券を取り、同じ番号の席をご利用ください。
券は席の見える所に置き、お帰りの際はカウンターまでお持ちください。
1時間以上席を離れる場合は一旦券をお戻しく下さい。
1時間以上離席されますと、他の方に席を利用いただく場合がありますのでご了承ください。

◆座席券は1人1枚

後から来られる人の分を先に取ったり、1人で2席を使うことはできません。

◆食事・雑談など

自習や読書のための部屋です。お菓子などを食べたり、雑談、音の出る機器の使用は
ご遠慮ください。
また、イヤホンやヘッドホンの音漏れ、電卓・キーボード等の打鍵音にご配慮ください。

◆青少年室の利用は中学生から

小学生の方は児童室をご利用ください。(利用をご希望の場合はお声がけください)

◆長時間ご利用の方

自転車は地下駐輪場にお停めいただくようご協力をお願いします。



<1月展示のご案内>

一般大展示 「1964年生まれの作家たち」
2階展示 「漫画時代」



大人のための朗読会

【日時】 1月17日(水) 午後2時から1時間ほど

【場所】 3階 集会室

【内容】 『ふるさと銀河線』より

「幸福が遠すぎたら」高田 郁/著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※状況により、内容の変更・中止になる可能性があります。

人を読む 森見登美彦

1979年～奈良県生まれ。京都大学大学院修士課程修了。『太陽の塔』で日本ファンタジーノベル大賞受賞。『夜は短し歩けよ乙女』で山本周五郎賞、『ペンギン・ハイウェイ』で日本SF大賞受賞。

『きつねのはなし』

森見 登美彦[著]/新潮社

京都一乗寺にある古道具屋、芳蓮堂でアルバイトをすることになった武藤。店主のナツメから天城という客の元へ遣わされる。その男は奇妙な取引を持ち掛けてきて……。表題作ほか「水神」などの奇譚全4篇を収録。『小説新潮』掲載の「きつねの話」を改題、書き下ろしを加えて単行本化。

『ぐるぐる問答』

森見 登美彦[著]/小学館

対談は苦手という著者が、『ダ・ヴィンチ』『別冊文藝春秋』など様々な媒体に掲載してきた対談をまとめた森見登美彦初の対談集。芸人・作家・漫画家など、多彩な人たちとの対談に加えて、デビュー直後の森見登美彦(昔)とデビュー十周年の森見登美彦(今)が会談する、小説「今昔対談」も収録。

『森見登美彦の京都ぐるぐる案内』

森見 登美彦[著]/新潮社

『夜は短し歩けよ乙女』や『四畳半王国見聞録』など、京都を舞台に描かれた作品の名場面の地を自分の足で歩くための一冊。「鴨川デルタ」「下鴨神社」や、登美彦氏の母校である「京都大学」などを紹介している。文芸誌『yomyom』に掲載された「京都捻転紀行」ほか、随筆も収録した森見登美彦的京都ガイド。

『ペンギン・ハイウェイ』

森見 登美彦[作]・ふーた [絵]

/KADOKAWA

なにごとにも研究熱心な小4のアオヤマ君は、ノートに毎日の発見を記録することになっている。そんな彼が住む郊外の街に、ある日突然ペンギンたちが現れた。親しくしている歯科医院のお姉さんがこの事件に関わっていることを知り、事件の謎について研究することにしたが……。【小学5～6年生】

小説家を志し、京都大学大学院在学中に執筆した『太陽の塔』で2003年にデビュー。京都を舞台にした作品が多く、『聖なる急げ者の冒険』で第2回京都本大賞を受賞。著作の『夜は短し歩けよ乙女』や『有頂天家族』は舞台や漫画、アニメにもなっている。他の作品に『夜行』(第7回広島本大賞)『熱帯』(第6回高校生直木賞)など。

児童室

おはなし会



第1・第2・第3 土曜日 場所: 3階集会室

おひざ (0~2歳くらい) 午後2:00~
 小さい人 (3~5歳くらい) 午後2:15~
 大きい人 (小学校低学年) 午後2:40~

1/6 (土)

●おひざのうえ

「ぱんだちゃん」
 「あかちゃんたいそう」

○小さい人

「すごいサーカス」
 「だいこんとにんじんとごぼう」

◎大きい人

「5ひきのくまさん」
 「だいくとおにろく」

1/13 (土)

●おひざのうえ

「つんつんぼん!」
 「おふろにおいで」

○小さい人

「てぶくろ」
 「ねずみじょうど」

◎大きい人

「ちょろりんのすてきなセーター」
 「金いろとさかのおんどり」

1/20 (土)

●おひざのうえ

「くっくくく」
 「おもちさんがね...」

○小さい人

「ぼく、お月さまとはなしたよ」
 「ねことねずみ」

◎大きい人

「チャッピーの家」
 「こめだしいこく」



第1・第3 水曜日
 あかちゃんひろば

場所: 1階絵本コーナー

1/17 (水)

午前11:00~11:20

0歳~2歳くらいのお子さんと保護者向け
 赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊びなど



第2・第4 日曜日

場所: 1階ロビー 2歳くらいから

1/14 (日)、1/28 (日)

午前11:00~11:20

季節の絵本や紙芝居など

今月の展示



『ふゆのほん』

2024年 1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 🐶
7	8	9	10	11	12	13 🐶
14 🐶	15	16	17 🐶	18	19	20 🐶
21	22	23	24	25	26	27
28 🐶	29	30	31			

■ 日・祝日のため午後5時15分まで